

# 行政報告

(令和4年第2回定例会【3月】提出)

安芸太田町

## 1 職員研修の開催について【総務課】

今年度2回目の職員研修は12月20日に、地域商社あきおおた 観光アドバイザーの有田隆司様をお招きし、「DMO“観光によるまちづくり機構”について」と題して実施しました。

地域商社あきおおたが「登録DMO」として観光庁より認定を受けたことを踏まえて、DMOの現状や考え方、他団体の事例を講演いただきました。

## 2 新型コロナウイルス感染拡大(第6波)への対応について【危機管理室・健康福祉課】

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が全国的に猛威をふるっています。

町内でも年明け以降、2月末までに新たに60人(合計89人)の感染が確認されており、この間、町としても対策本部会議を3回開催し、鋭意対応にあたってまいりました。

特に今回の感染拡大では、町内でも相当数の方が自宅待機を余儀なくされることが予想されたことから、町独自の取組みとして、要支援自宅療養者に、食料品や衛生用品等の生活必需品を詰め合わせた支援物品を自宅へ配送する取組みを実施しています。

物品の調達には、本町と包括連携協定を締結している生活協同組合ひろしまのご協力をいただき、また物品の配送は本庁・各支所と連携を取りながら進めており、2月末までに28名の要支援自宅療養者に届けました。

## 3 消防団活動について【総務課危機管理室】

消防団では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間の短縮と人数の制限をし、12月28日から3日間、年末特別警戒を実施しました。なお、「消防団出初式」は、感染症拡大防止のため中止としました。

また、昨年、消防団本部がドローンを保有したことに伴い、消防団本部員のうち2名がドローン操縦講習を受講し、目視外飛行に必要な技術認証を取得しました。今後は計画的に操縦認証者を育成し、消防活動や災害対応におけるドローンの機動力を効果的に機能させるための体制を構築してまいります。

## 4 消防屯所整備について【総務課危機管理室】

戸河内土居屯所の老朽化に伴い、備蓄機能を備えた新屯所の建替えが完了しました。新屯所は近隣住民の方の一時避難所機能を有するとともに、消防資器材が効率よく格納できる施設となっており、気象警戒時における地域住民の安心と消防団員の待機時の環境が向上したと考えております。

## 5 防火水槽整備について【総務課危機管理室】

旧坂原小学校プールの廃止に伴う消防水利確保のため、坂原コミュニティのグラウンド内に地下式防火水槽を整備しました。この対応によって、当該地域における火災発生時の初期消火機能が向上しております。

## 6 自治体デジタルトランスフォーメーション協議会の要望活動について【企画課】

本協議会は、各自治体のDX推進にかかる事例交換や、課題の共有等を目的に、本町を

含む全国各地の7自治体（安芸太田町・伊勢原市・川越市教育委員会・木津川町・田原本町・戸田市・真鶴町）及びデジタル関連企業等で設立し、その取組みを進めています。

本年1月12日に、同協議会を代表して、奈良県田原本町長とともに、牧島デジタル大臣を訪問し、構成自治体における自治体DX推進にかかる要望書を提出しました。

DX推進のための財政支援、人材支援、標準準拠システムに向けた支援等を要望し、過疎地域におけるDX推進の重要性について意見交換を行いました。

## 7 人材育成・交流センターについて【企画課・教育課】

建設中の人材育成・交流センターの愛称募集を1月から行い、加計高校生や町民の皆さまからご応募をいただきました。関係者による選考会及び、加計高校生の意見を参考に、愛称を「黎明館（れいめいかん）」に決定しました。

同センターについては、工事完了後3月中旬には、町民の皆さまに内見していただく機会を設け、3月20日頃からは試験運用を兼ねて、一部供用を開始することとして準備を進めています。

## 8 ふるさと納税の推進について【税務課】

令和3年度の「ふるさと納税」について、令和4年1月末現在で9,903件、1億3,241万5千円に達し、前年同期と比べプラス30%と過去最多を記録しています。

今年度は納税サイトとして新たに「ANAのふるさと納税」を加え、2事業者を登録し、新規返礼品15点の取り扱いを開始しています。

また「企業版ふるさと納税」についてもコロナ過で営業活動が難しい状況ではありますが、自粛期間の合間にトップセールスを行っており、2月末までに4社410万円の寄附に結び付いたところです。

## 9 国民健康保険の運営に関する協議会について【住民課】

2月9日に協議会を開催し、令和4年度の事業計画案及び予算案並びに令和4年度国民健康保険税率案について諮問をしました。

会議において、国保財政の見通しや保健事業などに関しご質問やご意見をいただいたうえで、諮問どおり実施するよう答申をいただきました。

なお、本答申に基づいて、本定例会に関連する条例改正案を提出しておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

## 10 家庭ごみ指定袋について【衛生対策室】

令和3年1月から燃えないごみについて更に4つの区分けをして排出をお願いしているところ、住民から「ごみがなかなか溜まらないため、燃えないごみ（小）指定袋を作成して欲しい」との要望が多く寄せられていました。

それに対応するため、令和4年4月からは家庭ごみ指定袋の包装に使用されている外袋を「燃えないごみ」4区分の指定袋として使用できることとし、1月から広報等で周知を行っているところです。

## 11 つなぐ棚田遺産（ポスト棚田百選）について【産業観光課】

本町においては、これまで津浪、井仁、寺領・月の子の3か所が、棚田地域振興法に基づく指定棚田地域として指定されていましたが、この度農林水産省においては、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」として、改めて優良な棚田を認定されることとなり、2月15日付けで全国271地域の棚田が選定されました。

広島県では4地域が指定され、本町の3地域（津浪、井仁、寺領・月の子）も引き続き選定いただきました。

## 12 道の駅再整備基本計画策定事業について【産業観光課】

2月18日に開催した道の駅再整備基本計画策定検討委員会において、道の駅再整備基本計画の検討結果と合わせて、次年度以降の整備スケジュールについて協議しました。

年度内では最後の委員会となりましたが、委員よりいただいた意見を踏まえ、今年度の取組みを整理した内容を、『道の駅「来夢とごうち」再整備基本計画』として報告書に取りまとめる予定です。

## 13 新型コロナウイルス感染拡大影響事業者支援金について【産業観光課】

令和3年9月議会において認めていただいた「安芸太田町新型コロナウイルス感染拡大影響事業者支援金」制度について、昨年末で完了いたしました。

この支援金は町独自の制度であり、業種を限定せず、売上減少月額に応じて最大10万円を支給するものでしたが、最終的に55事業者に総額529万5千円を支給しました。

## 14 雪山誘客について【産業観光課】

町内唯一の恐羅漢スキー場は、12月19日から営業を開始し、今年度は人工降雪機を5台増設、計19台設置され、積雪を確保することで安定して営業日数を確保されています。また、県道恐羅漢公園線は8月の豪雨災害で通行止めが続きましたが、2月10日には仮復旧が完了しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大で予定されたイベントが開催できないなどの影響がありましたが、1月の利用者数は昨年比96.2%で推移しています。

## 15 水道事業広域連携の検討状況について【建設課】

令和4年11月の水道企業団の設立に向け、3回目となる「広島県水道企業団設立準備協議会」が2月7日に開催され、水道企業団の10年間の事業計画素案や地方自治法に基づく企業団規約素案について、協議を行いました。

協議では、災害時における応急給水体制の整備や、企業団によるプロパー職員の採用計画への質問などがあったほか、準備協議会へ参加していない市町へ、改めて参加を促してはどうかとの意見がありました。

今後、町においては3月中に3会場で意見交換会を開催し、町民からの質問や意見を伺うこととしております。

## 16 「黒い雨」判決確定後の対応について【健康福祉課】

広島への原爆投下後に降った「黒い雨」を巡る訴訟の広島高裁判決が確定以降、町民の皆さまから被爆者健康手帳や健康管理手当などの交付申請が続いています。

2月28日現在の被爆者健康手帳等の申請状況は、次のとおりです。

申請種類	受理件数
被爆者健康手帳の交付	182件
健康管理手当の認定	160件
第一種健康診断受診者証の交付	86件

本年4月から新たな認定制度が導入される予定と聞いておりますので、県や市、関係市町とも情報共有しながら被爆者援護事務を進めてまいります。

## 17 新型コロナウイルスに対するワクチン接種について【健康福祉課】

全国的な新型コロナウイルス感染者数の増大に伴い、国からのワクチン追加接種（3回目）前倒しの要請に応えるべく、本町においても2回目接種から6か月を経過した方から順次接種できるよう、接種体制を構築しています。

医療従事者や介護従事者等には、本年1月から優先して接種を実施しました。

また、65歳以上の方の追加接種の予約については、混乱を回避するため、予め接種日を設定し、接種券一体型の予診票と併せて通知しており、接種日の都合が悪い方や町外接種を希望する方は、本町専用の「予約コールセンター」に予約日をキャンセル・変更していただくよう対応しております。

65歳以上の方に対するワクチン接種は、予定どおり2月2日から開始し、現在のところ順調に進めております。

また、64歳以下の方についても6ヶ月を経過した時点で前倒しの接種が行えるよう、安芸太田病院にも協力をいただき、接種可能日を拡充しています。

併せて、これから新たに5～11歳の児童に対するワクチン接種も実施するというところで、その準備も鋭意進めております。

なお、2月末現在での追加接種（3回目）の接種状況は、以下のとおりです。

対 象	2回目接種	2回接種済率	3回目接種	3回接種済率
65歳以上	2,882人	94.24%	1,208人	39.50%
20～64歳	1,825人	68.24%	344人	12.86%
12～19歳	176人	68.30%	0人	0.00%
合 計	4,883人	81.52%	1,552人	25.91%

## 18 筒賀高齢者生活福祉センターひまわり健康浴場について【健康福祉課】

筒賀高齢者生活福祉センターひまわりの2階健康浴場に係る長期休業に伴い、グリーンスパ筒賀「アルカリ温泉展望浴場」を代替利用場所として指定し、ひまわり健康浴場の利用料金相当の金額で利用できるよう、昨年11月15日から割引券交付を始め、現在まで155人の利用に係る割引券（8,184枚）を交付しています。

本割引券の使用は、本年3月末をもって終了となるため、割引券の交付を受けた方には改めて周知を図ります。

なお、この健康浴場については、本年度末をもって廃止とすべく、本議会においてご審議いただくこととしております。

## 19 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金の支給について【健康福祉課】

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯を支援する観点から18歳以下の子どもがいる世帯に対して臨時的な特別給付を行うとした今回の事業が完了しました。

離婚等によって対象児童の養育者が受給できないといった問題が指摘されていましたが、本町では問題を事前に把握し、あらかじめ対象児童を養育している養育者を確認したうえで、その養育者に対して支給を行っております。

支給実績は、以下のとおりです。

区 分	内 容
給 付 額（一括給付）	児童一人当たり 10万円
対 象 人 数（子ども）	603人
給付合計額（実績見込）	60,300,000円

## 20 学校教育活動について【教育課】

12月15、16日において、コロナ禍により2回の延期をした町内小学校修学旅行は、旅行先を山口方面に変更して実施しました。新型コロナウイルス感染症対策を充分に行いながら、小学校生活最後の思い出づくりとなりました。同じくコロナ禍で実施を延期している町内中学校修学旅行については、来月に実施を予定しています。

1月14日、本町が12年にわたり東京大学や全国の学校等と連携して推進している「新しい学びプロジェクト」の全国大会を、文部科学省委託事業の実証研究委員会を兼ねて、加計小学校、安芸太田中学校、加計高等学校を会場に開催しました。感染症対策のため、授業は対象者を限定してインターネットで配信し、参加者は画面上で子どもたちの学びの様子を参観しました。県内外から120人の先生方がインターネット上で熱心な協議を行い、本町の先生方のICTの活用力と授業研究の質の高さとともに、小・中・高等学校のいずれの学校でもしっかり考え、話し合う子どもたちの様子に、高い評価をいただきました。

2月14日、県委託の幼保小連携・接続充実事業における町推進協議会を、町内の園所・小学校の管理職と担当者が集まり実施しました。1年間のまとめを行うとともに、新1年生のスタートカリキュラムについて検討し、就学前教育から学校教育へのつながりを確認しました。

## 21 上殿小学校の休校について【教育課】

学校適正配置の観点から、上殿小学校と戸河内小学校の統合について、児童保護者、地元自治会等と協議を行ってきたところですが、令和3年12月23日開催の教育委員会会議において、令和4年4月1日より上殿小学校は当面の間休校とし、戸河内小学校を通学区域とする決定を行い、必要な規則改正等の手続きを行いました。

現在は「上殿・戸河内小学校準備委員会」を設置し、新年度に向けスムーズな学校運営を図るために、スクールバス運行、PTA規約改正、制服・体操服についてなど協議がされているところです。

今後は、3月中旬に予定している準備委員会において最終確認がなされ、上殿地域の自治会と休校に関する覚書の締結を行う予定です。

また、3月25日に上殿小学校の休校式を予定しております。

## 22 人権フェスタについて【教育課】

12月4日、人権週間・障害者週間と合わせ「人権フェスタ」を川・森・文化・交流センターで開催しました。東京2020パラリンピック大会やり投げ競技において6位に入賞された北広島町在住の白砂匠庸（しらまさたくや）さんによる講演会を行うとともに、会場内に町内小学6年生の人権標語の展示や町内福祉事業所等による体験・展示・販売コーナーを設けました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催となりましたが、約100人の参加がありました。

## 23 成人式及び立志式の延期について【教育課】

令和4年1月中に予定していましたが「令和4年安芸太田町成人式」及び「令和4年立志式」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を延期しました。

今後、感染症の状況を踏まえながら開催日程等を決定し、詳細が決まり次第、関係者へお知らせすることにしております。

## 24 安芸太田町病院事業新経営改革プランの策定について【病院事業】

安芸太田町病院事業新経営改革プランの策定に向けて、12月20日に第4回の委員会を開催しました。今回は、策定委員会の意見を追加した「病院事業中長期計画2021改革プラン（素案）」を提示し、財務改善に関連し管理会計導入の可能性や地域における安芸太田病院の役割等についてご意見をいただきました。

令和2年度に公開予定であった国のガイドラインが大幅に遅れる中、本来であればガイドラインを待ってプランを作成するところ、安芸太田病院においては課題を抱えた状態で2年以上現状の運営を継続するより、一旦改革プランをまとめ、改善策を実行に移すことを優先すべきとの判断で、今後公開されるガイドラインと大きな齟齬があった場合は、改革プラン実施途中であっても修正のための協議を行うことを条件に承認をされました。詳しい内容は、広報2月号の特集ページで町民にもお知らせしています。

安芸太田病院は、住民の皆さんのために存続すべき病院として、単なる黒字の追及でなく、住民の健康を守り、生涯を通じて安心して生活できる社会の構築のため、一緒に考え行動していく病院を目指します。

## 25 新型コロナ有料PCR検査について【病院事業】

全国的に新型コロナウイルス感染症がまん延する中、感染リスクが高い環境にある等、症状は全くないが「感染の不安がある方」や「仕事等で陰性であることが確認したい方」を対象とした有料のPCR検査を実施しております。

かぜ症状等のある方は通常の発熱外来を受診されますが、無症状者限定の検査として通常診療とは別に体制を整え、予約や検査時間も指定させていただき実施しております。2月末までに7件の申込みがありました。